



安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

目次

➤ シルバー保険の対象とならない
病気による死亡事故の多数発生

➤ 事故報告 速報(令和8年8月分)

➤ 令和7年度損害賠償責任保険事故に係る調査の集計結果

➤ 販売書籍のご案内／ 編集後記

シルバー保険の対象とならない病気による死亡事故が多数発生

今年は8月末時点で、シルバー団体傷害保険の対象外(以下「非該当」となる死亡事故が8件発生しており、さらに9月2日にも1件の報告があり、計9件と昨年同様、発生件数が多い状況となっております。

これらの事故の中には、単独作業中に体調が急変し、誰にも気づかれぬまま、長時間にわたり発見されずにお亡くなりになったケースもあり、ご本人やご家族のことを思うと、痛切な思いに堪えません。

シルバー人材センターで就業される皆様の中には、持病をお持ちの方や過去にご病気を経験された方も少なくありません。加えて、今年は全国的な猛暑の影響もあり、知らず知らずのうちに心身の疲労が蓄積し体調を崩しやすい状況にあります。

このような悲しい事故を防ぐためには、まずご自身の体調管理を徹底していただくことが重要です。また、就業の際には仲間同士で声を掛け合い、互いの体調を気にかけることも欠かせません。特に、単独での作業中には、体調の急変時に発見が遅れるおそれがあることを十分に認識し、緊急時の連絡方法や周囲との連絡体制をあらかじめ確認してください。また、少しでも体調の異変を感じた場合には、決して無理をせず、症状が悪化する前に周囲の方に声を掛けるとともに、センターやご家族に連絡するなど、必ず周囲に助けを求めてください。命に代えられるものではありません。どうかご自身の体調を第一に考えた行動を心がけてください。

▶ 体調がすぐれない時は休む勇気を持つ!

▶ 一人で就業させない! 共働共助~チームで動いて、お互いを支えるワークスタイルへ

▶ 自分の身体が最優先!! 健康あっての生きがい就業!!

STOP!
死亡事故

令和8年度 シルバー団体傷害保険非該当 死亡事故(9月2日時点)

仕事の分類	性別等	就業人数	死因	事故の状況
除草作業	79 歳 男性	複数	病死 急性心筋梗塞	除草作業で、6名がそれぞれの持ち場に分かれ作業していたところ、別の会員が倒れている会員を発見し、意識・呼吸がないので救命措置を施しながら救急車を手配。搬送後、 急性心筋梗塞 で亡くなられた。
除草作業	78 歳 男性	複数	病死 大動脈解離	個人宅の敷地内にて除草作業を終了後、就業報告書へサインを受け取る際に、突然、後方に転倒し、頭部を強打。意識を喪失していたため、同伴していた会員が救急車到着まで応急処置を実施。搬送後、死亡が確認された。 大動脈解離 。
清掃作業	66 歳 男性	複数	病死 急性心筋梗塞	側溝清掃作業を開始し、1回目の休憩時に胸が苦しくなり、休憩していた。その後、班長が、忘れものを取りに戻った際、休憩中の会員が椅子に座り、上を向いて口を開けている状態であることに気づいた。班長が救急車を要請したが、搬送先の病院で 急性心筋梗塞 により亡くなられた。
除草作業	81 歳 男性	複数	病死 心筋梗塞	2人で除草作業中に気分が悪くなり休憩、その後再び不調を訴え救急要請し、搬送中に心肺停止となり 心筋梗塞 により亡くなられた。
清掃作業	70 歳 男性	単独	熱中症	午前中、墓地にて一人で清掃作業していた。車内で休憩中に意識を失ったと思われる夕方過ぎに散歩中の人に発見された。車のエンジンは止まっており窓も締められた状態であった。 熱中症 。
除草作業	79 歳 男性	複数	病死 心筋梗塞	8時から山道の除草を行い、13時再開し山の腹付近の法面1m幅の除草中、倒れているのを同僚が発見し、救急車を呼び心臓マッサージ等を行ったが 急性冠症候群(心筋梗塞の一種) で亡くなられた。
その他作業	79 歳 男性	複数	病死 心不全	児童交通指導員の就業を終え、12時ごろ小学校から自宅に自転車で戻る途中、気分が悪くなりうずくまっていたところ地域住民に発見され搬送された。 心不全 。
その他作業	77 歳 男性	複数	病死 脳出血	一緒に就業している会員よりセンターに電話があり会員の様子がおかしいとのことであった。番重を積み上げることができず言葉を発せず、幻覚症状があり右側に傾いて歩いていた。救急搬送され、 脳出血 と診断された。
農作業	75 歳 男性	複数	病死 多臓器不全	ズッキーニの収穫作業中、意識不明状態で発見され、救急搬送。重度の熱中症の疑いで治療が行われたが、 多臓器不全 で亡くなられた。